



## 施策研究チームの研究報告書について

### 1 報告書の概要

#### (1) 「まちなかに水辺・せせらぎのあるまちづくり」(Aチーム)

水路が多いというまちの特徴、水がもたらす癒しややすらぎの効果を「歩いて楽しい街づくり」に活かすため、親水意識を喚起する取り組み、水空間の創出について提案する。

- ・ 市民参加型親水イベントの実施  
→ 誰もが気軽に水を楽しめる仕掛け
- ・ ウォーター・ウォールの設置  
→ 駅前地下街にせせらぎ空間の創出
- ・ ドライミストポールの設置  
→ 清涼感の演出 

〔	ウイング・ウイング 高岡広場のドラえもんの散歩道付近	〕
	JR 高岡駅人工デッキ（建設予定）付近	

#### (2) 「環境にやさしい市役所づくり」(Bチーム)

東日本大震災を契機とする節電意識の高まりの中、今できることは何か、市役所がとるべき行動とは何かなどの視点から取り組むべき内容を検討し、具体の手法等について提案する。

- ・ 電力使用量の見える化  
→ 電力使用量の公開により節電の意識づけを徹底
- ・ 節電（省エネ製品の積極的導入）  
→ 採光ブラインド、LED 照明の導入
- ・ 太陽光発電、地中熱の利用  
→ 公共施設への積極的な導入検討（新施設、大規模改築、機器更新時）
- ・ グリーンカーテン  
→ 公民館への設置、グリーンストリートコンテスト事業の実施

環境にやさしい市役所は、市民の皆さんにもやさしい市役所でなければならぬと考え、オープンな市役所づくりを進める視点からも広くエコに対する取り組みはどうあるべきかを考えたもの。

### 2 報告書の取扱い

施策研究チームから提案された事業については、チームと担当部局において内容を精査し、必要性・実現可能性を検証したうえで、次年度以降の対応を検討する。

また、予算措置が必要なものについては、新年度予算編成の中で可能な限り対応していくこととしている。

担当：都市経営課政策調整担当

Tel.20 - 1228 内線 226